

アメリカの伯父さん (1980)

MON ONCLE D'AMERIQUE

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 フランス
時間 127分
初公開日 1981/06
公開情報 東宝東和

【解説】

かなり念の入った知的な冗談として一見の価値はあるが、レネの近作が軒並みそうなように、映画的な感動をあまりもたらさない作品。生物学者アンリ・ラボリ教授がまず登場し、マウスを使っての実験で刺激反応の例を見せ、人間の行動原則も本質的にはその論理に基づいていると説明する。そして、その具体ケースとして、三人の男女の生き方、関わりを皮肉っぽく紹介していく。労働者階級の娘ジャニーヌは女優志願で、小劇団に参加。その公演を観に来た、ブルターニュのブルジョワ出身の放送局報道部長ジャンと交際するようになる。妻はジャニーヌに、自分是不治の病で余命いくばくもないと嘘をついてまでその同情を引き、夫と別れさせようとした。一方、繊維工場の叩き上げ技術部長の、ジャニーヌの元恋人ルネ（ドパルデュ）はエリートの新任上司に睨まれ閑職に置かれ、自殺未遂を図る。病院に付き添ったジャニーヌは、既に政界進出を果たした野心満々のジャンとは別れ、広告関係の仕事で出世をしていたが、そこで彼の妻の“仮病”の事実を知り愕然。いよいよ人間に愛想を尽かす。こうしたよくある三角関係を、心理学的に解き明かす映像のペダンティックな点、マウスの着ぐるみが現われたりする突拍子もないユーモア等々、観るものを大いにケムにまく要素は充分に揃った映画の頭脳パズルとは言えよう。

【クレジット】

監督	アラン・レネ	Alain Resnais
製作	ミシェル・フォール	Michel Faure
脚本	ジャン・グリユオー	Jean Gruault
撮影	サッシャ・ヴィエルニ	Sacha Vierny
音楽	アリエ・ジェルラトカ	Arie Dzierlatka
出演	ジェラルド・ドパルデュ	Gerard Depardieu
	ニコール・ガルシア	Nicole Garcia
	ロジェ＝ピエール	
	マリー・デュボワ	Marie Dubois
	ネリー・ボルゴー	Nelly Borgeaud
	ピエール・アルディティ	Pierre Arditi
	ジェラルド・ダリュ	Gerard Darrieu
	フィリップ・ロダンバッシュ	Philippe Laudenbach
	ジャン・ダステ	Jean Daste